

## ◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター	
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号	
職員数	181名 (非常勤・派遣33名を含む)	

サイト(敷地), 建物	敷地面積	81,840㎡
	建築面積	15,836㎡
	延床面積	37,052㎡

## ◆ 事業活動の環境への影響 (平成 28 年度実績)

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センターは環境改善につながる活動を推進しています。法人和泉センターには特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いいかんによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

### INPUT

電力使用量	:	6,419	千 kWh
都市ガス使用量	:	145	千 m <sup>3</sup>
水道使用量	:	14	千 m <sup>3</sup>
紙使用量	:	982	千枚

### OUTPUT

#### 廃棄物排出量

事業系一般廃棄物	:	8.5	トン
産業廃棄物合計	:	38.1	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	0.8	トン

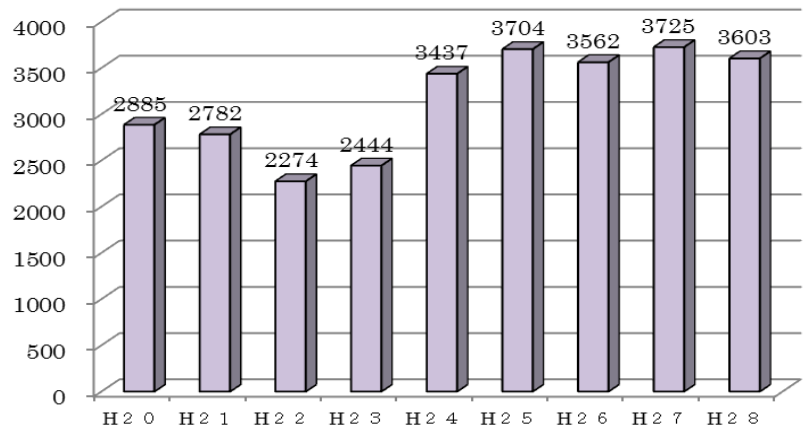
## ◆ 環境パフォーマンス

過去9年間の電気、都市ガス、水道の使用量を CO<sub>2</sub> 排出量に換算しました。

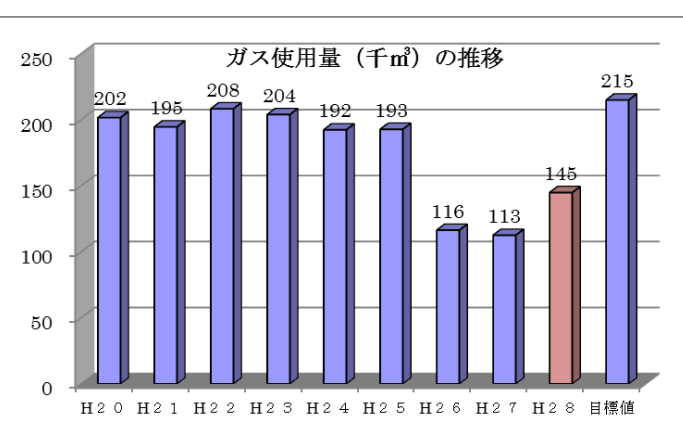
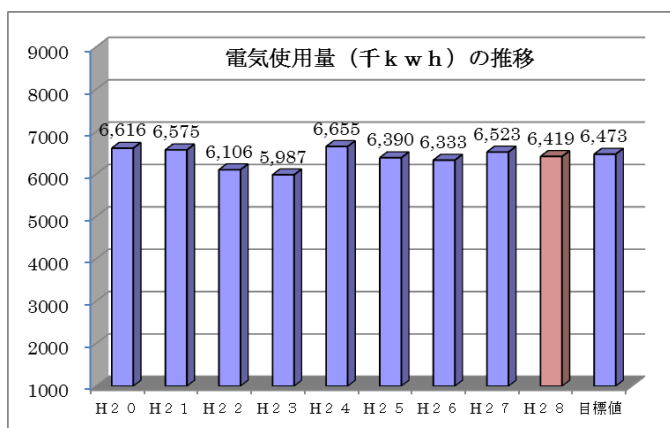
法人和泉センターでは平成 22 年度までは、ほぼ順調に CO<sub>2</sub> 排出量を減少させてきましたが、平成 23~25 年度は排出係数の上昇等により、前年度に比べ、増加しました。

平成 28 年度は、電気使用量が減少したため平成 27 年度より CO<sub>2</sub> 排出量を約 120 トン減少することができました。

CO<sub>2</sub> 排出量 (t)  
電気・都市ガス・水道・使用量から換算

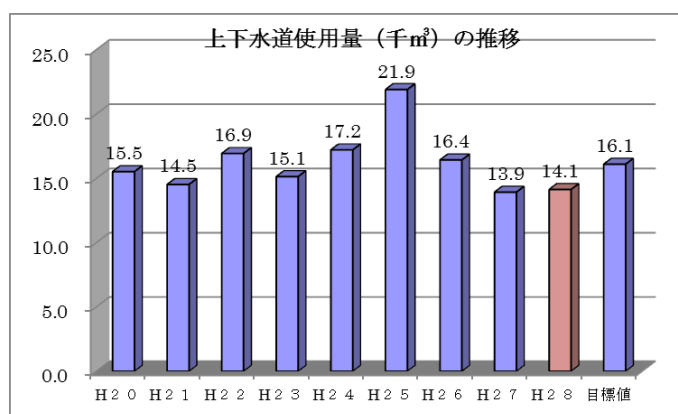


平成 28 年度は、電力の使用量は、前年度より減少し、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値、6473 千 kWh 以下）を達成しました。また、平成 28 年度のガス使用量は昨年度より増加しましたが、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値、215 m<sup>3</sup>以下）を達成しました。



◆ 水道使用量削減の取組み

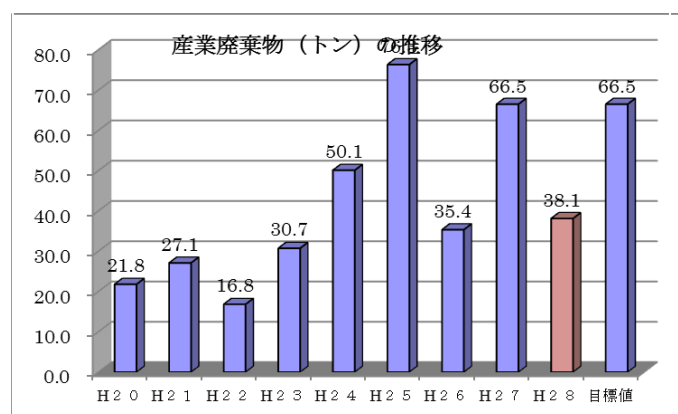
平成 28 年度の上下水道の使用量は昨年度より増加しましたが、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値、14.1 千 m<sup>3</sup>以下）を達成しました。



◆ 産業廃棄物削減の取組み等

平成 27 年度に過去の書類の整理や備品の廃棄を行ったことから、平成 28 年度では 28.4 トン削減することができ、目標を達成することができました。

コピー用紙使用枚数は平成 27 年度に比べ、約 45 千枚増加し、目標値（925 千枚）を達成することができませんでした。



◆ 安全管理システムの運用による取組み

「安全管理システム」の運用が軌道に乗り、阪技術研で使用している薬品、ガス等について保管、使用、廃棄状況が迅速、正確に把握できるようになっています。引き続き職員の安全と地域環境保全を確保するための努力を継続していきます。